

ラブラドル・レトリバー

	改正	現行
■用途	<u>レトリバー</u>	<u>ガン・ドッグ</u>
■沿革	<p><u>ラブラドル・レトリバーはニューファンドランド沿岸で発祥した犬種であると考えられている。その地域では漁師が魚を回収するために似たような外貌の犬を使用していた。素晴らしいウォーター・ドッグであり、その耐候性のある被毛及びカワウソの尾に例えられたユニークな尾がこの犬種の特徴である。</u></p> <p><u>ラブラドルは比較的にそれ程古い犬種ではなく、その単犬種クラブは1916年に設立され、また、イエロー・ラブラドル・クラブは1925年に設立された。ラブラドルが有名になったのはフィールド・トライアルによるもので、1800年代後半に Peter Hawker 大佐及び Malmesbury 伯爵により初めてその地域に紹介された。その犬は Malmesbury Tramp と呼ばれた犬で、現代のラブラドルの基礎となった犬の一頭であると Lorna Howe 伯爵夫人は説明している。</u></p>	<p><u>ラブラドル・レトリバーの多岐にわたる活躍は広く知られているが、沿革については定かではなくほとんど知られていない。16世紀頃北米大陸沿岸へ出漁した北欧やイギリスの漁船に同情しカナダのラブラドル半島へ渡った犬の後裔と思われる。</u></p> <p><u>1800年頃、ニューファンドランド島からしお鱈を運ぶ船でイギリスへ送られてきたのが、この犬がヨーロッパへ紹介された最初だといわれている。</u></p> <p><u>ラブラドル・レトリバーは、長い間の極寒の海辺で海中に流れた網を捜したり、網からこぼれ出た魚を捕らえそれを運ぶ仕事に従事していた。</u></p> <p><u>1880年までは頑固な性格を有していたが、以後従順な性格となり訓練性能が向上し、運搬として活躍するものも多く、世界中で飼育されるようになった。レトリバーとは獲物を回収運万する犬という意味である。地名が犬種名となった。</u></p>
■一般外貌	<u>たいへん活動的である（それが過体重やサブスタンスを防いでいる）。</u>	たいへん活動的である。
顎/歯	<u>上の歯と下の歯は密接に重なっており、顎に対して垂直に生えている。</u>	顎に対して垂直に生えている。
□胸	<u>この形は過体重により生じるものではない。</u>	(追加)
□後軀	<p><u>中足</u></p> <p><u>飛節は十分低く位置し、カウ・ホックは極めて好ましくない。</u></p>	<p><u>飛節</u></p> <p><u>十分低く位置し、カウ・ホックは極めて好ましくない。</u></p>

□毛

<p>ウェーブ状の<u>毛</u>や飾り毛はない。 下毛は<u>耐候性</u>がある。</p>	<p>ウェーブ状の飾り毛はない。 下毛は<u>風雨</u>に強い。</p>
---	---